

## 1 遣明船シアターを視聴し、東アジアと九州とのかかわりを調べよう。

- (1) 遣明船を通じた貿易を始めた幕府の将軍と中国の皇帝は誰ですか。また勘合印が遣明船で使われていた理由は何でしょうか。

幕府の将軍 →	足利義満	(理由) 海賊行為をおこなっていた倭寇と正式な貿易船との区別をつけるため。
中国の皇帝 →	永楽帝	

- (2) 遣明船では、どのようなものを運んでいましたか

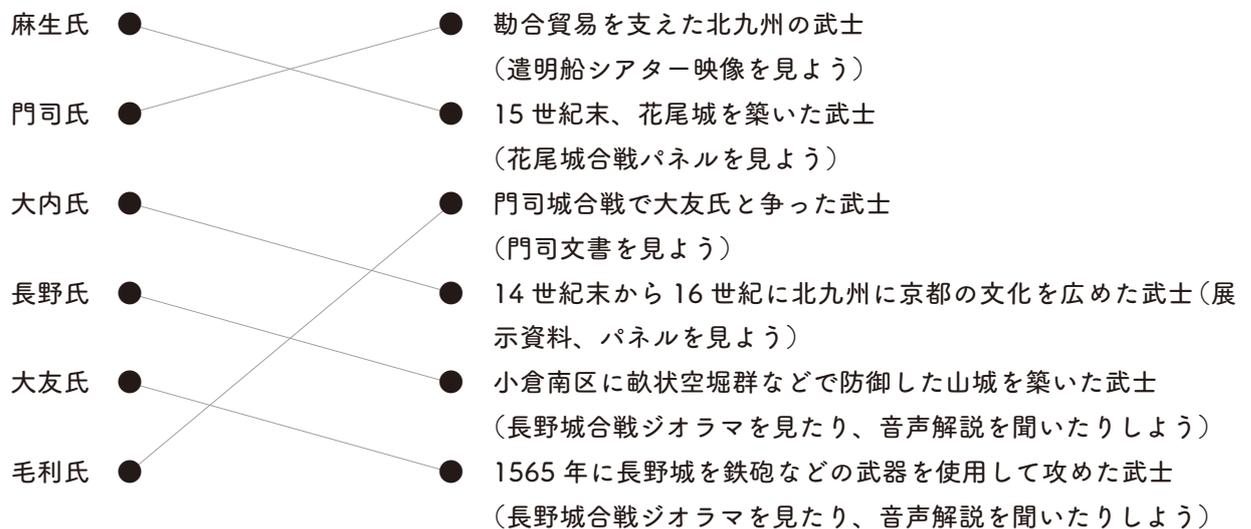
中国(明)	←	銅銭 陶磁器 書籍 絹織物 生糸など	→	日本
	(	刀剣 硫黄 銅 蒔絵 漆器 など	)	

- (3) 遣明船を仕立てたり、動かしたりするなどして貿易を支えた北九州の武士の一族は誰ですか。また、九州の武士はどのようにして成長していききましたか。

貿易船は門司で造られ、遣明船の船頭に門司氏がなっていました。明との貿易において、門司氏の力は不可欠であり、貿易を通して力をつけていった。しかし、貿易は後に大内氏によって独占されるようになった。

## 2 中世の北九州にゆかりの深い武士たちの様子や関係を調べよう。

- (1) 展示資料などを見て、下の武士たちに関係の深いものを選び、線で結びましょう。



- (2) 各地の有力な戦国大名は、どのようにして力をつけていくことができたのでしょうか。〈下剋上〉や〈貿易〉などの言葉を使って説明しよう。

実力で上の身分の者をたおして、力をつけたり、貿易の利益によって、経済力をくわえて力をつけたりした。